

検診と保険診療 広報げろ 2010.8

検診と保険診療

乳がん検診を希望して病院を受診される方がおられます。ここで問題になるのが受診にかかる費用の負担です。検診は自費で受けることになっており健康保険は使えません。そこで今回は検診と保険診療についてのお話です。

◎検診とは

検診は、体に全く異常を感じていない人が自分の健康状態を確認し健康の維持に役立ったり、がんや、生活習慣病などの慢性の病気を無症状のうちに早期に発見し早期に治療に結びつけるために受けるものです。その費用は自己負担が原則でクーポン券など自治体からの補助制度もあります。

◎保険診療は

健康保険を使って医療機関を受診することを保険診療と言います。病気やけがばかりでなく体に何らかの異常を感じた時に医療機関を受診する場合は対象となります。咳や痰が出て肺がんが心配、胃の調子が悪い、乳房に異常を感じる時などはがん検診を受けるのではなく直接保険証を持って医療機関を受診すべきです。

◎自費検診は負担が大きい

市が行う検診を受けられなかったのが病院で検診を受けたい、病院で検診を受けるから市が行う検診は受けないという方がおられます。また、乳がんについてもクーポン券を使った市の検診を受けないで直接病院で検診を希望される方がおられます。しかし、医療機関では市と契約した検診以外はすべて自費となりまた保険は使えません。自費による検診の場合保険診療で支払う自己負担額の4倍近い費用がかかります。

◎検診でがんの早期発見を

各種の検診には市などから費用が補助されています。がんは早期に発見することが治る道です。早期のがんは無症状です。乳がんでも早期の場合全く無症状ですが18人に一人は乳がんになるといわれる今日、クーポン券を利用して積極的に乳がん検診を受けましょう。

◎健康保険を上手に使いましょう

体に異常を感じた時、検診を待っていると病気が進行することもないとはいえません。健康保険を上手に使うことで病気の早期発見、治療につなげましょう。乳房に異常を感じた時クーポン券を持って受診される方がおられますがこの場合クーポン券は使えません。保険診療では健康保険と自費の二重診療は認められておらず、クーポン券の使用は自費による診療とみなされるからです。

日ごろ市などが提供する検診を上手に利用し、病気の早期発見を心がけ、限りある医療資源を有効に使うことで健康の保持増進に努めましょう。検診についてご不明な点は市または医療機関にお尋ねください。